

第 3 回 宜野湾市地域公共交通推進協議会

議事要旨

日 時:令和 7 年 3 月 31 日 (月) 10 時 00 分

場 所:宜野湾市役所 多目的会議室

1. 報告

(1) 令和 6 年度第 2 回地域公共交通推進協議会 議事概要

(2) 令和 6 年度第 2 回幹事会 議事概要

2. 議題

(1) 新たな交通サービス導入に向けた検討状況

(2) 令和 7 年度予算案

【議事概要】

事務局より、新たな交通サービス導入に向けた検討状況について説明を行い、モデル地区として南地区を選定することとし、交通モードはデマンド交通を採用することを提案し、協議会において承認頂いた。また、令和 7 年度地域公共交通推進協議会の予算案についても承認頂いた。

新たな交通サービス導入に向けた検討状況に関する議事概要は以下のとおり。

小川委員

- 北地区、南地区について。北地区の野嵩 1 区、2 区の公民館へ行く道路が狭い、行きづらい。高齢者が多い。
- 南地区は嘉数の公民館はど真ん中にある。90 番、98 番も通っている。330 号の嘉数バス停：多く通っている。コープ牧港にもバスが運行している。北地区と比べて不便ではない印象を受ける。
- 牧港の医療施設、海邦病院など、もっと遠くに行きたいというニーズなのか。行動範囲が広い地域に行くから、コミュニティバスが必要という意見になるのではないか。

事務局

- 資料 3 の 2 ページに掲載のとおり、南地区は公共交通空白地域が面的に広がっており、面積も大きい。加えて、地理的状況でも、勾配が大きく移動が難しい。都市計画の用途地域においても、嘉数地区は商業施設が立地できない状況。

大城委員

- 南地区の運行に異論はない。今後のためにも、A3 の南地区について説明いただきたい。

長堂委員

- 目的地となる商業施設や医療施設へのヒアリングはしているのか。協力的な施設があれば、積極的に協力してもらい、アドバイスをもらうなどした方が良い。

事務局

- 現時点では行っていないが、次年度の調査として検討したい。

神谷委員

- 今の意見に関連して、他地域の事例でミーティングポイントを施設に設定し、ミーティングポイントに施設名にしてネーミングライツをもらっている事例がある。商業施設や医療施設であれば、利用者は地域住民でもあるため、地域貢献という形で協力してもらい、結構な財源となっている地域もある。
- バス停まで遠いということに対して、どこまでバス停まで運ぶのか。バス待ち環境への意見もあるので、対象とするバス停は検討した方が良い。バス待ち環境についても、バス停自体のグレードアップで考えるのか、近くの商業施設等待てるところを活用して、設置させてもらってサポーター料金割引のか等、検討してほしい。
- AI オンデマンドにこだわるのか。南城市の N バスは使っていなかったと思う。東京くらい需要の密度が高い場合はあった方がいいが、そうでない場合、AI が上手く活かしきれないケースも多い。デマンドに異論はないが、AI を活用するかは検討したほうが良い。
- タクシーのアプリについて。沖縄のタクシーの台数ベースで、どのくらいの割合でアプリが導入されているのか。統計上、後期高齢者でも過半数がスマホを持っているとされている。タクシーの配車アプリの使い方を教えるだけでも、移動の利便性は向上する可能性がある。また、南地区で実証をやる以上、他地区の方から声は挙がると想定される。全体への施策として、タクシーのアプリの使い方教室？等を検討してはどうか。AI オンデマンドにするにしても、アプリは使えた方が良い。
- 浦添との連携はどう考えていくのか。担当者レベルでも進めた方がいい。

事務局

- バス環境の意見も多くいただいている。今後どういう形でやっていくか、検討する必要がある。バス事業者とも連携して検討を進めたい。
- AI にこだわるのか、は検討した。比較的人口密度が高い、道が狭く通りづらいところが多い、ということで AI に選定した。
- 市内のタクシー会社8社にヒアリングする中で、アプリ予約が多く高齢者への予約に対応できないという声はいただいている。今後検討したい。
- 担当者レベルでは協議している。次年度詳細の検討をする中で、協議していきたい。

仲村渠委員

- 社協、介護長寿課では、新城の方で、「新城商店」として毎週火曜日移動スーパーをしている。今後増やしていこうと考えている。そういった状況をみながら、新城の方でどんなニーズがあったのか、等も気にしながら検討してもらえると良いと思う。

事務局

- 新城の取組みは今年1月から本格的に始まったと聞いている。状況は随時把握していきたい。